



2023年11月7日

各 位

会社名 株式会社 島根銀行
代表者名 取締役頭取 鈴木 良夫
(コード番号 7150 東証スタンダード市場)
問合せ先 人事財務グループ部長 豊島 泉
(TEL 0852 - 24 - 1238)

2024年3月期 第2四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ

当行は、2023年5月15日に公表しました2024年3月期第2四半期（中間期）（2023年4月1日～2023年9月30日）の業績予想を、下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2024年3月期 第2四半期（中間期）（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,930	百万円 230	百万円 200	円 銭 17.39
今回修正予想（B）	4,370	370	290	28.37
増減額（B－A）	440	140	90	
増減率（％）	11.1	60.8	45.0	
（ご参考）前期実績 （2022年9月期）	4,078	318	274	32.36

(2) 個別業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,120	百万円 220	百万円 190	円 銭 16.19
今回修正予想（B）	3,380	340	270	25.96
増減額（B－A）	260	120	80	
増減率（％）	8.3	54.5	42.1	
（ご参考）前期実績 （2022年9月期）	3,128	283	254	29.90

2. 修正の理由

個別業績予想においては、貸出金利息および役務取引等収益が当初予想を上回る見込みとなったことに加え、与信関連費用が当初予想を下回る見込みとなりました。

連結業績予想については、単体の要因に加え、連結子会社の業績も好調に推移する見込みであることから2024年3月期第2四半期（中間期）の業績予想を修正するものであります。

なお、下半期（2023年10月1日～2024年3月31日）において、今後の経済環境が不透明であることなどから与信関連費用や有価証券関係損益等を慎重に見込んでおり、2023年5月15日に公表しました、2024年3月期（通期）業績予想の変更はありません。

※本資料に記載されている予想計数は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（参考：個別業績予想についての補足説明）

項目	取組事項
貸出金利息	<ul style="list-style-type: none">✓ 企業支援室と営業店の連携による本業支援取組が定着。お客様との密接な関係構築が奏功し、コロナ融資返済開始後も一定の地元向け貸出金残高を維持。利回りについては当初想定を上回り、貸出金利息増加に寄与。✓ 住宅関連融資の残高が当初想定を上回り、堅調に推移。
役務取引等収益	<ul style="list-style-type: none">✓ SBIグループとの連携により、ストラクチャード・ファイナンス等の提案可能な商品・内容が一段と拡充されたこと等、当初想定を上回る収益の獲得に繋がる。✓ インフレが進む中、将来の生活防衛につながる金融商品（保険商品等）の販売額が当初想定を上回る推移。
与信関連費用	<ul style="list-style-type: none">✓ 継続的な経営改善支援・再生支援の取組みにより、取引先企業の収益性の向上や再建計画の達成が実現。結果、与信関連費用が当初想定を下回る。✓ 当行メイン取引先以外のお客様とも緊密な関係を構築し、突発的な与信関連費用の発生を抑制。

以上